



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 言語学研究 1992, 11

ISSUE DATE:

1992-12-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/87973>

RIGHT:

言 語 学 研 究
Linguistic Research

第11号

1992

言語学研究
Linguistic Research

第11号

1992

目 次

論 文

モーラ音素及びアクセントがリズムに与える影響と七五定型のリズム 岩井 康雄	1
現代口語ビルマ語の名詞節標識-ta_・-hma_の用法・機能 澤田 英夫	25
中国語と日本語の受動文の構造について - 語彙的受動文と統語的受動文 - 沈 力	63
日本語における照応表現の局所的束縛と述語の再帰表示 中村 裕昭	97
小節の内部構造と格理論 橋本 喜代太	125
フランス語における文体的倒置構文の分布上の制限について 藤田 健	143
使役表現と受身表現の接近に関するおぼえがき 早津 恵美子	173
海外調査報告	
モンゴルとその言語 橋本 勝	257
タイムイル半島(シベリア)のドルガン族の言語資料ノート 藤代 節	261
京都大学言語学懇話会 1992年度活動報告	285

1992年12月 1 日 発行

編集委員：家本太郎，岸田泰浩，菅原 睦，小森淳子，
吉田夏也，高橋慶治

発 行 者：京都大学言語学研究会

〒606-01 京都市左京区吉田本町
京都大学文学部言語学研究室内

Edited by Taro IEMOTO, Yasuhiro KISHIDA,
Mutsumi SUGAHARA, Junko KOMORI,
Natsuya YOSHIDA,
and Yoshiharu TAKAHASHI

Published by Kyoto University Linguistics Circle
c/o Department of Linguistics,
Faculty of Letters, Kyoto University,
Yoshida-Hommachi, Sakyo-ku, Kyoto,
606-01 Japan

印 刷 所：昭 和 堂 印 刷 所

〒606 京都市左京区百万遍交差点上ル東側
